

こっこめ通信 10 2003

八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「台風が残っていたもの」号

9月に入り少しは涼しくなるかと思いましたが、「今頃になって夏が・・・」といった天候が続きました。いつまでこの暑さが続くのかと心配していた矢先に、今度は台風の接近。直撃に近い台風の進路でかなりの被害が出てしまいました。植物公園内にある温室のガラスも割れてしまい、閉鎖の状態です。

さて今回は、そんな台風15号のお話しです。

台風の力には勝てずに

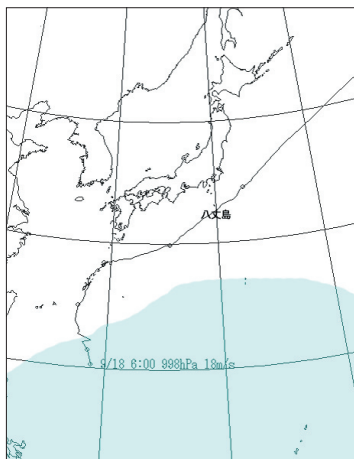
台風が通過した22日、坂上の中之郷の住民から「庭に見かけない鳥がうずくまっています」とビジターセンターに連絡が入りました。

さっそく保護し、調べてみるとシラオネッタイチョウの幼鳥の可能性が高く、画像を三宅島アカコッコ館の山本さんに見ていただいたところほぼ間違いないとお答えをいただきました。

どうやら台風によって来るはずのない八丈島まで来てしまったようです。保護した時は元気が無く、台風の中一生懸命にがんばって飛んでいた様子がうかがえました。早速、小魚を買ってきて食べさせると日を追うごとに元気を取り戻してくれました。

そして25日、八重根港で放したところ南へと元気に飛び立ってってくれました。

帰路の道のりは長いですが、がんばって帰ってほしいですね。



左の地図は今回通過した15号の進路とシラオネッタイチョウの生息すると思われる海域です。台風の中、どのような状態で飛んできたのかは分かりませんが、かなりの長距離を飛ばされてきてしまったようです。八丈島でこの鳥が確認されたのは初めてです。



シラオネッタイチョウ（白尾熱帯鳥）

Phaethon lepturus dorotheae Mathews, 1913

世界の熱帯および亜熱帯の海域に分布し、日本の南方海域にもときどき飛来する。

今回のように台風の後に見つかることが多く、過去には岩手、富山、石川、山梨、長野、静岡、宮崎や小笠原諸島（嫁島）、硫黄列島（北硫黄島）、南鳥島、八重山諸島などでの記録が残っているようです。



「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

無事を祈りただ過ぎゆくのを待つ

9月18日、沖縄の遥か南で発生した台風15号は、当初台湾の方へ向かうと思われていました。しかし太平洋高気圧の張り出しが弱くなり始め、徐々に進路を北から北東へと変えはじめました。そして本州の南の海上を八丈島を目指しているかのように迫ってきたのです。

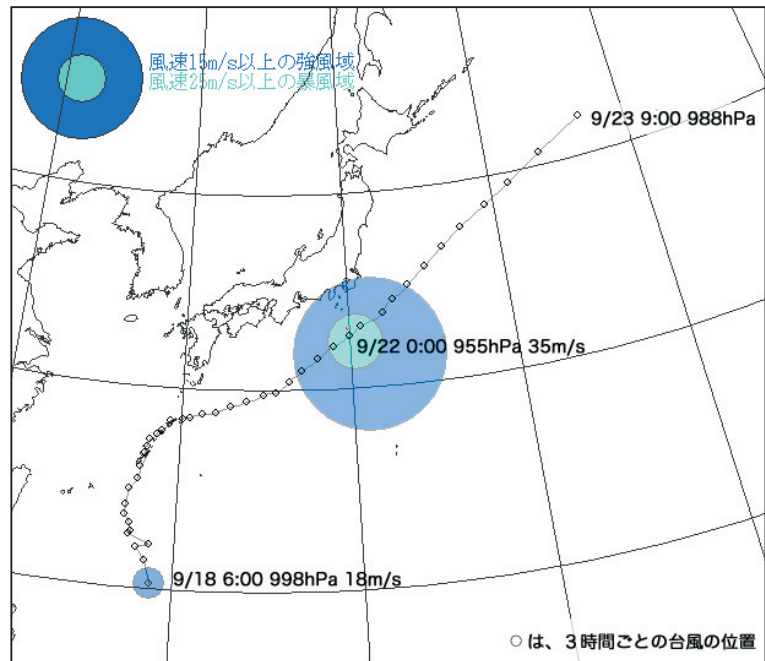
「嵐の前の静けさ」この言葉の通り21日の午前中はとても静かな日曜日でした。夕方頃から北寄りの風が強くなりはじめ、夜半前には口では言い表せないほどの強風と大雨になりました。

本来、島の周りに来ると台風の勢力は衰えるはずなのですが、今年は海水温が高いため島の近くに来てても衰えることはなく、さらに勢力を増してしまいました。今回の台風は島に最接近した時の勢力が一番強く、955ヘクトパスカルにまでなっていたようです。

そして午後11時34分、最大瞬間風速59.5mを観測しました。1907年八丈島測候所が観測を始めてから3番目に強い最大瞬間風速だったそうです。風に加え、22日午前0時までの1時間の雨量も84mmと記録的な大雨でした。

強風による住宅や電柱の倒壊がいたるところで起こり、停電や断水が続きました。これほどの被害が出たのは1975年（昭和50年）10月5日の台風13号以来ではないかと言われています。それでも人的被害が出ないのは台風の経験が多い島ならではのかもしれませんね。

台風の通り道に当たる八丈島ですが、今回の台風は記録に残る台風になってしまいました。



強風と大雨によって根本から剥がれてしまったシイの大木
中之郷にて



横転してしまった漁船
神湊漁港にて



屋根が飛ばされてしまった民宿
中之郷にて

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月14日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査（平成 15 年第 8 回）					
平成 14 年 9 月 14 日（日） 13 時 30 分～ 15 時 参加者・菊池、伊藤、青柳、永井、永井、V.C. 菊池					
NO.	和 名	状 態	NO.	和 名	状 態
草本			43	センダングサ雑種？	花
1	イワニガナ	花	44	アオツヅラフジ	花
2	オニタビラコ	花と実	45	ヘクソカズラ	花と実
3	オヒシバ	花と実	46	シチトウスミレ	実
4	メヒシバ	花と実	47	カラムシ	実
5	イガガヤツリ	花	48	ツクシメナモミ	花
6	ヒメクグ	花	49	ススキ	花
7	ツメクサ	花と実	50	キツネノマゴ	花
8	オオバコ	花と実	51	アメリカセンダングサ	花
9	タカサブロウ	花	52	セイヨウタンポポ	花と実
10	ハキダメギク	花	53	ホウキギク	花
11	イノコヅチ	花と実	54	アオノクマタケラン	若い実
12	タケダグサ	花	55	イヌガラシ	実
13	ヤブマオ	花	56	スズメノカタビラ	花
14	アシタバ	花	57	シマスズメノヒエ	花
15	キンエノコロ	花と実	58	メリケンカルカヤ	蕾
16	オオアレチノギク	種	59	オムナグサ	花
17	ツユクサ	実	60	カタバミ	花
18	ツルボ	花と実	61	アツバスミレ	実
19	タケダグサ	花	62	コマツヨイグサ	花と実
20	トウバナ	花	63	ケナシヒメムカシヨモギ	実
21	ベニバナボロギク	花	64	イヌホオズキ	花と実
22	イヌタデ	花	65	コメヒシバ	実
23	ヌスビトハギ	花と実	66	キランソウ	花
24	ハシカグサ	花	67	サクユリ	実
25	ナキリスゲ	花	68	ノシラン	咲き終わり
26	ハチジョウアザミ	蕾、花	69	コブナグサ	蕾
27	チヂミザサ	花	70	ミズヒキ	花
28	ヤマカモジグサ	実	木本		
29	ウスベニニガナ	花	1	シマクサギ	花と若い実
30	ヤブガラシ	花	2	ガクアジサイ	花と実
31	タチスズメノヒエ	花	3	ヤブツバキ	実
32	トキワハゼ	花	4	イタビカズラ	実
33	ヒナギキョウ	花	5	ハチジョウイボタ	実
34	チチコグサ	花と実	6	イヌビワ	実
35	エノコログサ	花	7	オオバヤシャブシ	実
36	ヒンジガヤツリ	花	8	マサキ	実
37	コニシキソウ	花	9	アカメガシワ	実
38	ヘラバヒメジョオン	花	10	ヤブニッケイ	実
39	クズ	花、盛り	11	ハチジョウキブシ	実
40	ツルマオ	蕾	12	ホルトノキ	実
41	ヨモギ	花	13	オオムラサキシキブ	実
42	フタバムグラ	花	今回は植物 83 種を観察しました。		

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は黄八丈の染料に使われる「コブナグサ」にスポットを当ててみたいと思います。



コブナグサ *Arthraxon hispidus*

日本全土に分布するイネ科の一年草。

葉の基部がハート形にへこみ、桿（茎）を抱き込むことや、かたくてまばらな毛の生えることでコブナグサと分かります。

八丈島で見られるものと内地のものとの違いはありませんが、カリヤスと呼び、黄八丈の黄色染料として利用しています。

2003 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 特別行事があります		1 09:11 02:00 19:28 13:57	2 10:46 02:54 19:51 14:30	● 3 13:35 04:07 20:12 15:49	4 ガイドウォーク 14:54 05:52 22:52 20:54
5 ガイドウォーク 07:31 21:11 15:24 21:11	6 01:38 08:37 15:48 21:35	7 02:49 09:23 16:10 22:00	8 03:39 09:59 16:31 22:25	寒露 9 04:20 10:31 16:50 22:49	○ 10 04:57 11:00 17:08 23:15	11 ガイドウォーク 05:32 11:28 17:27 23:41
12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 06:07 11:54 17:46 21:11	13 ガイドウォーク 特別行事 富士環状林道ハイキング 06:42 00:09 18:05 12:20	14 07:18 00:38 18:24 12:45	15 07:56 01:09 18:43 13:10	16 08:41 01:43 19:00 13:33	17 09:41 02:23 19:14 13:58	● 18 ガイドウォーク 01:36 03:18 19:21 14:39
19 ガイドウォーク 04:40 13:59	20 06:23 20:49 14:35 20:49	21 00:51 07:42 15:01 21:03	22 02:15 08:39 15:25 21:27	23 03:11 09:25 15:50 21:55	霜降 24 04:01 10:06 16:16 22:27	● 25 ガイドウォーク 八丈学講座 「海蝕崖を観察しよう」 04:49 10:45 16:41 23:01
26 ガイドウォーク 05:37 11:23 17:07 23:37	27 06:26 11:59 17:34 23:34	28 07:17 00:16 18:01 12:34	29 08:13 00:57 18:29 13:09	30 09:18 01:42 18:58 13:47	31 10:42 02:34 19:29 14:39	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう
10/12（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

特別行事

富士環状林道ハイキング

八丈富士の環状林道（約10km）をのんびりと歩きます。
10/13（9:30～ 約5時間） ビジターセンター集合・解散
小学生以上（低学年は保護者同伴） 参加費：500円 定員：20名

八丈学講座

「海蝕崖を観察しよう」

毎月行っている八丈学講座。今回は、波によってできた地層を観察をします。
10/25（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.10.1 第29号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

自然の力はすごいです。人の文明が発達して、自然の力に立ち向かおうとして結局は無力なのかもしれません。やはり、自然にとけ込んだ生活が一番なのでしょうか？ 自然に生きましょう！（高）